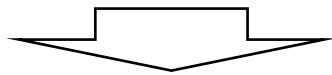


- 1 日 時：令和3年10月20日（水）6校時
- 2 教 科：総合的な学習の時間
- 3 学 年：1年A組 SSB組
- 4 単元名：「ふるさと大崎上島を知ろう！伝えよう！プロジェクト」
- 5 単元について

単元における本質的な問い	単元における永続的理解（本質的な問いの答え）
ふるさとのために自分たちにできることは何かがあるか？	まず、自分たちの地域の伝統文化、地域経済、防災、福祉などについての諸課題について知る必要がある。そして、その課題の解決に向けては、地域における自己の生き方との関わりの中で解決策を考え、地域社会で行動していくことが必要である。  (H29 学習指導要領解説 総合的な学習の時間編を参考)



#### パフォーマンス課題

以下のようなプロジェクトを立ち上げます。

##### プロジェクト名

未来の大崎上島を考えよう！伝えよう！プロジェクト

##### プロジェクトの目標

現在、大崎上島は少子高齢化の問題に直面している。その大崎上島の自然や歴史、文化、産業などを見つめ直し、地域を誇りに思い、それらを受け継ごうとする気持ちや、地域から学び、地域に貢献しようとする気持ちを今まで以上に持てるようになること。

##### 求められる成果物や達成目標

各プロジェクトチームによる「発表」や「町への提言」。その際には少子高齢化への視点を踏まえること。

##### 評価項目

- ①探究すること：課題を発見し、それを解決するためにどうすればよいかを考える。
- ②他と関わること：仲間と協力して学んだり、社会と関わったりする。
- ③自ら行動すること：失敗を恐れず、いろんなアイデアを提案したり、チャレンジしたりする。

パフォーマンス課題（単元末課題）の評価基準【ループリック】

	探究に向かう態度や毎時の記録，事後評価アンケートの記述		
	①探究すること	②他と関わること	③自ら行動すること
A	課題を発見・分析し，適切な計画を立て，その課題を処理し，解決することができる。	多様な他者の考えや立場を理解し，相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができる。	自分の長所や短所を理解し，主体的に行動することができる。
B	課題の解決に向けての計画を立てることができ，その計画を実施することができる。	自分の考えを正確に伝えることができる。	主体的に行動することができる。
C	課題の解決に向けての計画を立てることができない。または，計画を実施することができない。	自分の考えを正確に伝えることができない。	主体的に行動することができない。

6 生徒観・指導観

事前に生徒には，広島県版「学びの変革」パイロット校事業で検証として用いている「学習に関するアンケート」を実施した。『授業では，課題を解決するために，進んで資料を集めたりしています。』に否定的に回答している生徒の割合は約 36.4%，『授業では，自分の考えを積極的に伝えています。』に否定的に回答している生徒の割合は約 39.4%であった。「情報の収集」，「まとめ・創造・表現」といった探究的な学習過程に日頃から十分に取り組めていない生徒が多いことがわかった。その中で，前単元では大崎上島町内で校外学習を行い，地域の歴史や文化に関する体験活動を行った。住み慣れた自分たちの町にもまだまだたくさんの魅力があることに気付かされた生徒も多くいた。また，町の未来のことも考えている生徒もあり，本単元にも積極的に取り組む姿が想定される。

本単元は生徒の現状とPBLの考え方を踏まえて単元構成を行った。生徒は探究学習シートを用いて学習を進めていく。探究学習シートとは，「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」という探究活動に生徒が主体的に取り組むために，本校が作成したワークシートである。

指導にあたっては，「課題の設定」の場面に重きを置き，生徒がグループに分かれて活動計画を立案する際の指導を丁寧に行う。生徒が立案した計画で目標が十分に達成されるのか，異なるグループの計画と照らしながら，吟味する過程を大切にす。また，探究学習シートでは，毎時間や単元終了後の自己評価をしやすいするための工夫もされており，生徒の変容をとらえながら各時間の指導を行っていく。

## 7 単元目標

- (1) 大崎上島町を知り、伝えるという探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを実感できるようにする。
- (2) プロジェクトの全体目標からグループの目標を設定し、達成のための計画を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

## 8 単元において育成しようとする資質・能力のかかわり

本校で育成しようとする資質・能力及び態度（○は本単元において育成しようとする資質・能力）

思考力・判断力・表現力	○	学習内容を活用し、現象が起こる理由を理論的に思考し、まとめている。
主体性・積極性	○	課題を発見し、解決に向けて授業に意欲的、積極的に取り組んでいる。
自己理解・自らへの自信	○	学習内容が日常生活に関係することを理解し、自信を持って学習に取り組んでいる。

## 9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
大崎上島町を知り、伝えるという探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域の特徴やよさが分かり、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解している。	プロジェクトの全体目標からグループの目標を設定し、達成のための計画を立て、情報を集め、整理・分析したりする力を身に付けるとともに、考えたことを、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。	探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、よりよい街づくりを実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとしている。

10 単元計画【全27時間】

時		学習内容	評価
第1次 課題の設定	1/27	プロジェクトの概要について知る。事前評価シートに取り組む。	知
	2～3/27	大崎上島の現状について確認する。	
	4/27	プロジェクトチームを結成し、チームのメンバーの興味関心について交流する。	
第2次 情報の収集	5～6/27	プレゼンテーションソフトの使い方を理解する。	知
	7～8/27	「福祉体験学習」を通して①大崎上島町の高齢者問題を考え、大崎上島町の現状と未来を考える。②いたわり尊重し共に生きていく人間関係を構築するとともに、集団として関わろうとする姿勢を身に付ける。	主
第3次 整理・分析 課題の再設定 情報の収集	9/27	「福祉体験学習」を振り返る。	思
	10～13 /27 (本時は 13時間目)	各プロジェクトチームでプロジェクト計画案を立てる。必要に応じて情報収集も行う。	
	14～23 /27	各チームでの活動を行う。	
第4次 まとめ・創造・表現	24～25 /27	各プロジェクトチームでの発表を行う。	思
第5次 ふり返り	26～27 /27	各プロジェクトチームでの活動をふり返る。 事後評価シートに取り組む。	主

1 1 本日の授業（第3次 13時間目）について

(1) 本時の目標：「福祉体験学習で感じたことをもとに、チームの活動計画を立てよう。」

(2) 本時の学習の流れ

学習活動	指導上の留意事項（◇） 「努力を要する」と判断した生徒への指導の手立て（◆）	評価の観点 (評価方法)
<p><b>課題の設定</b></p> <p>1 本時の位置づけについて確認し、課題意識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元全体における本時の位置づけについて確認する。</li> <li>・本時の学習内容を確認する。</li> </ul> <p>2 本時の課題を確認する。</p>	<p>◇前時のワークシートを返却し、前時の学習内容の確認をする。</p> <p>◇本時がプロジェクト全体でどのような位置づけにあるのかを説明し、本時の活動や今後の活動について見通しを持たせる。</p>	
<p>本時の課題：福祉体験学習で感じたことをもとに、チームの活動計画を立てよう。</p>		
<p><b>情報の収集</b></p> <p>3 各チームで活動計画案について話し合う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①チーム名</li> <li>②チームの達成目標</li> <li>③発表内容の詳細</li> <li>④全10時間の活動計画</li> </ol>	<p>◇班長を司会とし、記録係を設定させることで話し合いをスムーズに進められるようにする。</p> <p>◆具体的な達成目標案の例をいくつか提示し、ヒントとなるようにする。</p>	
<p><b>整理・分析</b></p> <p>4 全体で進捗状況を交流し、チームの計画案の参考にする。</p>	<p>◇次の点について、交流させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立案しているものが「プロジェクトの達成目標」とかけ離れたものになってはいないか。</li> <li>・自分たちが立案した計画で目標が十分に達成されるのか。</li> <li>・見通しが甘いところがないか。</li> </ul> <p>◆必要に応じて教員からも質問や意見を出す。</p>	<p>思・判・表 チームのメンバーと意見を交流し、チームの達成目標を考え、活動計画を立案することができている。 (観察・発表・ワークシートへの記入)</p>
<p><b>まとめ・創造・表現</b></p> <p>5 全体でチームの達成目標を発表する。</p>	<p>◇班長に発表させる。</p> <p>◇活動への期待度を発表後の拍手に込めることにして、全体で意欲を喚起させる。</p>	
<p><b>振り返り</b></p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	<p>◇ワークシートを用いて自己評価をさせる。</p>	

